

地域イベント ハロウィンパレード

10月31日に開催された、「ハロウィンパレード泉ヶ丘 2015」に救護として参加しました。泉ヶ丘の噴水広場は、Donald Duck やくまのプーさん、アナと雪の女王のアナやエルサなどに仮装した、カワイイちびっ子達・保護者などが大勢集まり、子どもたちが、かぼちゃのカバンを持って商店街を、パレードしていました。

大阪大谷大学のアカペラや手話の音楽や、泉北高校吹奏楽部のパフォーマンス、スタンパラーがありにぎやかな会場でした。救護としては、迷子の依頼が1件と片付け時の怪我1件と大きな事故もなく、反対に私たちが楽しませてもらったイベントでした。

【南区ふれあいまつり】

11月8日(日)は南区役所および、西原公園グランド、榎文化会館にて南区ふれあいまつりが開催されました。当院は「こころの健康相談」としてブースをいただき、救護班も兼ねて12名のスタッフが参加しました。会場の一つ西原公園では、町会や、スポーツクラブなどがとれたて野菜やつき立てのお餅などを販売し、中央のステージでは吹奏楽など、終日プログラムが組まれる大きなイベントです。

当院は昨年に引き続き2度目の参加でしたが、なんと2度目の雨。それでも冷たい雨が降る中、地域の方へ声をかけ、パンフを渡し、相談、20件、立ち話などの対応は200件を越えました。相談では認知症への質問や不安が多かったように感じます。地域の方へ当院を知っていただくとともに、「困った時は阪南病院へ相談」と思ってもらえるよう、これからもしっかりとイベント活動を行っていきたく思います。秋はまだまだイベントが続きます。

(地域医療連携室)



基本方針

人権を重んじ、患者さんやご家族の「心のふるさと」になれるよう、患者さんの立場に立ったやさしい医療をおこないます。

最新の医療知識と技術を身につけ、予防から急性期治療・リハビリテーション・在宅支援まで継続的な質の高い医療を提供します。

「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。

地域の拠点病院として、行政機関や病医院・地域の方々と連携し、保健・医療・福祉に貢献します。

信頼される医療サービスを提供するために、経営の健全化につとめ、すぐれた医療従事者を育てます。

2008.4.1 改定



パンジー

秋から冬にかけて、花の少ない季節に彩りを添えるパンジー。まさに花壇の主演として咲いています。

- すみれ科 ● 開花時期は、10/10～翌7/10頃。
 - すみれの園芸品種。いろいろな種類がある。● 寒さに強い。
- 「パンジー」はフランス語の「パンセ(考える)」という意味で、つぼみが下を向く形が、人が頭を垂れ物思ふ姿に似ているところから命名されました。パンジーに似た品種に「ピオラ」があります。花の直径が3～5cm以上のものを「パンジー」、それより小さいものを「ピオラ」と、分けけて呼ぶことがあるようです。かわいらしいパンジーを院内でも探してみてください。



機能評価認定

当院は今年、6月29・30の2日間、第三者機関である病院医療機能評価機構の訪問審査を受けました。ケアプロセスを中心に、病院の運営や各部署の機能など、細かくチェックされます。設備も含めた機能評価のため、病院全体での取組みとなりましたが、このほど無事に認定書をいただきました。評価は「S,A,B,C」の4段階。「C」が一つでもあると認定はいただけません。「S」は「特に優れている」という評価です。当院はこの「S」評価を全91項目の内、「1.2.3地域に向けて、医療に関する教育、啓発活動を行っている」「1.6.3療養環境を整備している」「1.6.4受動喫煙を防止している」「3.1.1薬剤管理機能を適切に発揮している」「3.2.6救急医療機能を適切に発揮している」の5項目においていただきました。これを一つのステップとしさらに、良質の医療を展開できるよう、取り組んでまいります。

■外来診察表

外来診察時間/9:00～12:00(受付は11:30まで) 平成27年12月現在

	月	火	水	木	金	土
1 診	黒田	子安	作田	横田	黒田	横田
2 診		秋田	松島	橋元	横井	横井
3 診	松島	島本	植田	仲山	茶谷	植田
4 診	花房	大矢	濱田	戎	小林	安藤
5 診	佐野	山田	川村	宮里	秋田	
6 診	福田晋	土井	正路	永松	土井	宮里
7 診	山本	久保	小深田	橋本	作田	小深田
8 診		荒川	西村	河野	奥田	
9 診	熊取谷	柏木	後藤	大浦	長谷川	熊取谷
診(心1)	清水	中井	山下			

*医師の急な都合により、変更・休診となることがございますので、予めご了承ください。
(ご紹介いただく際は予めご連絡をお願いいたします)



専門外来
(睡眠・児童・往診・女性・口腔)は予約制です。
医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。受診の前にお電話ください。
TEL.072-278-0381
FAX.072-281-6615

診療科目

精神科/心療内科/児童精神科/内科/歯科/小児科/放射線科

病床数

- EPU(精神科救急)病棟 168床(C1,H2,H3病棟)
- 児童精神科病棟 25床(D1病棟)
- 亜急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
- 精神科急性期治療病棟 111床(D2,E2病棟)
- メンタルケア病棟 35床(E3病棟)
- 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
- MPU(精神科合併症治療)病棟 51床(H1病棟)
- 精神療養病棟 60床(F3病棟)
- 認知症治療病棟 60床(F2病棟) 計690床

看護体制

精神科病棟 15:1 急性期病棟 13:1 救急病棟 10:1
看護師比率 70%以上・看護補助 30:1

関連施設ご紹介

- 認知症疾患医療センター ☎072-278-0233
- 訪問看護ステーションふれあい・サテライト「浜寺石津」☎072-279-1631
- グループホーム青空・そよかぜ 堺市中区八田南之町277 阪南病院内 ☎072-278-0381
- グループホームあんの郷 堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい 堺市中区深井沢町3324 FUKAI ビル1F ☎072-277-9555
- 堺市発達障害者支援センター アプリコット堺 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ内3F ☎072-275-8506
- 医療福祉相談室(直通) ☎072-278-3768

秋の患者さんレク 須磨海浜水族園

10月5日(木)秋の患者さんレクとして、須磨海浜水族園を楽しみました。リニューアルのため、人気のペンギン館やアトラクションは休止となっていたが、この時期は企画展として「身近な水辺に暮らすエイリアンー日本の自然を脅かす、外国から来た生物たち」といった展示もあり、秋の晴天の1日、多くの来場者でにぎわっていました。

当院からはスタッフも含め、約100名で出発、渋滞もなく、10時半頃には現地へ到着しました。大きな水槽の前で悠然と泳ぐ魚をじっと見入っている方や、いろいろな水槽をどきどきと見て回る方もいて、それぞれの1日を過ごされたようです。滞在時間は3時間半程度でしたが、十分に気分転換が図れたようです。毎年レクは、USJや映画村など、患者さんの意見も取り入れながらレク会議で決定していきます。その中でも水族園は、誰でもが楽しめる人気スポットでもあります。終日好天にも恵まれた秋の日、患者さんの笑顔が印象に残るレクでした。

なかなか外に出ることのできない患者さんには、思い出に残るレクだったのではないのでしょうか。(レク会議)



堺市中区障がい者福祉委員会研修会

9月30日(水)民生委員の部会で堺市中区障がい者福祉委員会の方々30名がお越しになり、研修会を実施しました。近くにお住まいでも、病院の中まではご存知ない方もおられ、しかし児童や救急など積極的に医療展開していることを聞き、是非見学と研修をとご要望をいただき開催が実現したものです。

見学ではH棟の屋上庭園などユーティリティスペースやOTやデイケアなどリハビリ施設の見学をしていただきました。併せて、リハビリテーション部、平部長より「精神科医療は今」というタイトルでお話させていただき、皆さん、興味深く聞いておられました。内容は、「精神障がい者を取り巻く社会状況」「精神科病院ってどんなところ?」「精神科へやってくる人たち」「精神障がい者を地域で支える」といった項目ごとに、わかりやすく解説されました。認知症の問題や独居の高齢者の増加などまさしく身近な問題であり、民生委員も高齢の方が増え、今後の地域支援に不安を感じながらも日々取り組んでおられるとのことでした。今回の見学で精神科への印象が変わったという方もおられました。

今後の協力や連携を考える上で、よい関わりが持てた1日でした。

マイクロバス増便



当院から最寄りの「JR津久野駅」「泉北高速鉄道深井駅」を結ぶマイクロバスは、日々多くの方にご利用いただいております。この度、ご要望の多い津久野便のバスの少ない時間帯に1便増便し、より利便性を高めたいと考えております。

開始日	12月1日(火)
増便	病院発 16:35発 津久野発 16:45発

※16:05から17:30までバス便のなかった時間帯の運行です。是非ご利用ください。



社会医療法人清恵会 清恵会病院

2015年10月、清恵会病院は創立45周年という節目の年に、より良い医療環境を求めて、心機一転、市立堺病院跡に移転致しました。

創立以来培われたプライマリケアを含めた救急医療を基軸に、総合病院として内科全般、小児科、外科、整形外科、脳外科を中心に多数の診療科で年間約6000件の多岐にわたる救急搬送を受け入れています。同時に、各科の専門医、認定医の認定研修施設としてそれぞれの専門分野において質の高い医療を目指しており、脳・心血管障害や内分泌・代謝疾患、各種整形外科疾患などをはじめ、当院の得意とする分野をさらに充実・発展するよう努力しています。

そして何より、民間の医療法人ならではの自由な発想と人への思いやりを基本に、当院が職員の誇れる職場であるとともに、「やさしい医療」「わかりやすい診療体制」「明るく心地よい医療の場」であることを目指して、堺市における救急医療をはじめとする急性期医療に貢献して参る所存です。

- 住所 〒590-0064 堺市堺区南安井町1丁1番1号
- 電話番号・HP 072-223-8199(代表) <http://seikeikai.or.jp/> 公式facebook 有
- 最寄駅 南海電鉄 堺東駅
- 専用送迎バス JR/南海高野線 三国ヶ丘駅、南海高野線 堺東駅より運行
- 診療科 総合内科、循環器内科、糖尿病代謝内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓・高血圧内科、神経内科、内分泌内科、膠原病内科/一般消化器外科、血管外科、心臓血管外科、乳腺・内分泌外科/小児科/産婦人科/脳神経外科/整形外科/眼科/形成外科/歯科口腔外科/泌尿器科/耳鼻いんこう科/皮膚科/メンタルヘルス科/リハビリテーション科/救急医療センター



医療機関紹介 **seikei bookmark**

院長 北岡 治子 先生



光トポグラフィー



株式会社日立メディコホームページより抜粋

日本でのうつ病の12ヶ月有病率(過去12ヶ月に経験した者の割合)は1~2%、生涯有病率(これまでにうつ病を経験した者の割合)は3~7%であり、欧米の12ヶ月有病率1~8%、生涯有病率3~16%に比べると低いとされています。また、一般的に女性、若年者に多いとされますが、日本では中高年でも頻度が高く、うつ病に対する社会経済的影響が大きいと言われます。(厚生労働省ホームページ:みんなのメンタルヘルスより抜粋)

当院でも近年、うつ病や双極性感情障害などF2:統合失調症圏に比べ、F3:気分(感情)障がい、F4:ストレス関連障がい等に分類される入院患者さんが増えています。9月の入院患者213名の内訳では、F2:30.5%に対し、F3:26.3%、F4:7.5%という比率です。

これら、うつ病をはじめとする気分障害は、問診や検査結果を総合判断し、医師が確定的な診断を下すまでには時間がかかるといわれます。この診断の補助的な機能を果たすのが「光トポグラフィー検査」です。客観的なうつ病診断手段としての光トポグラフィー検査は頭に近赤外線を当て、反射してくる光から脳血流の変化を読み取り、脳の活動状態を数値化する装置として注目されています。

昨年5月に厚生労働省の先進医療に指定され、今では国内約20施設で検査を受けることができます。当初は、診断に疑問を持つ人も多いのか予約が殺到し、なかなか検査を受けることができない状況だったようです。現在大阪府では大阪医科大学附属病院、近畿大学附属病院の2施設で検査が可能ですが、また、検査実施に向けた準備をしている病院も多く、当院でも年内の実施に向けて調整・準備が続いています。当院では同時に神経内科の標榜をすることになります。準備が整いましたら改めてご案内させていただきます。